



ESG 報告書

2023

平野商運株式会社

目次

Contents

トップメッセージ	—	1
組織・事業内容	—	2
ビジネスモデル	—	2
マテリアリティ	—	3
KPI	—	3
環境	—	4
社会	—	6
ガバナンス	—	9

平野商運株式会社
代表取締役 平野 隆之



近年、サステナビリティが急速に拡大しています。当社としてもサステナビリティの考え方に軸を合わせ、真剣に取り組まない企業に未来はないとの考えのもと、サステナビリティ推進を経営の主軸として取り組んでいます。

サステナビリティは「持続可能であること」、つまり企業のあるべき姿・ありたい姿を映す指標だと捉えています。企業はその取り組みを開示することが求められており、こうした理念に私たちとしても共感し、今まさにサステナビリティ経営への対応を加速しています。

当社を取り巻く運送業界は、社会が物流に求める在り方の急速な変化や、慢性的なドライバー不足などを背景に、大きな地殻変動が起きている。人々の価値観や社会の在り方の変容により、当社としても従来通りの経営では今後の成長は有り得ないと肌を感じています。

当社は今年、設立50周年を迎えます。半世紀の長きにわたり運送事業者として持続的に成長することが出来たのは、ひとえにステークホルダーの皆様のご理解とご協力の賜物だと感謝しています。この50年を振り返ると、現在のサステナビリティという考え方が普及する以前から、当社は環境保全を重視する経営、社員を人的資本と考える経営を進めていたことが分かりました。

当社の提供するサービスには、公道の使用、そして少なからず排出ガスを出すトラックを用います。公道の使用には法令の遵守、排ガスにはその影響を最小限に食い止める削減策の提起とその取り組みが不可欠です。今後はそれを更に拡大させ、本業の推進によるCO₂排出量削減に取り組んでいきます。

働き方改革においては、全ての社員の人格、個性及びその多様性を尊重し、一人ひとりが満足感高く、能力を発揮出来る職場環境の整備に努めています。働きやすい職場環境を提供することが「良い仕事」につながり、ひいては安心安全な物流への貢献につながります。

私たちがステークホルダーに求められることは、安全を第一に、環境保全を図りながら、お預かりした大切な荷物をしっかりとお届けすることです。当社は、“安全”をすべてにおいて最優先される事項とし、意識・行動・言動はこの“安全”を大前提として、事業を展開してきました。社員は常に向上心を持ち、自分自身、家族を大切に。それが大切な荷物を間違いなくお届けするための根幹だと信じています。

今後も、より高い志を持ち、社会的責任を果たしていきたいと考えていますので、皆様の温かいご指導、ご支援をお願いいたします。

組織・事業内容

Organization/business

名称	平野商運株式会社	資本金	2,550万円
代表者	平野 隆之	本社	愛知県一宮市明地字新田中切38番地の2
創業	1973年4月	社員数	68名
設立	1973年4月	事業内容	一般貨物自動車運送業

事業	内容
全国各地向け貸切便輸送	中部圏を中心に関東、東北方面、関西、九州方面まで全国に展開
特別積み合せ便	荷物の扱いに精通した職人ドライバーが積み合わせを行う路線便
郵便輸送	設立来からの郵便輸送業務

ビジネスモデル

Business model

平野商運は、「和・以・業・成（和を以って之を業と成す）、「之”こそが、我が社の物流サービスである」との社訓を事業の土台の考え方としています。経営理念「安全はすべてにおいて最優先される事項、意識・行動・言動はこの安全を大前提とする」を精神的な行動基準として、「中部圏を中心に関東圏・関西圏をカバー」、「長年の郵便輸送で培った信用」、「自社整備工場完備」を強みに事業を展開してきました。これからの時代の企業経営は、いかに社会的価値を創造することが出来るかが重要になります。サステナビリティ経営を実践することにより、「ドライバーにとって働きやすい職場提供」、「環境負荷の低減」、「安心安全な物流への貢献」という社会的価値を提供していきます。今後も、社会課題、環境課題にしっかりと向き合いながら、持続可能な社会の実現に向けて企業価値を高めていくことが平野商運のビジネスモデルになります。



■ リスクと機会の分析

平野商運は、環境・社会・ガバナンス（ESG）の視点を取り入れたサステナビリティ経営を進めるにあたり、想定される「リスクと機会」を分析しました。様々な角度から分析した結果、以下のリスクと機会を特定しました。

リスク	環境性能の高いトラック導入による当面のコスト負担、ドライバーの離職
機会	2024年問題をクリアした社内体制による取引先の増加

■ マテリアリティ（優先順位）の特定

分析したリスクと機会をもとに、優先的に取り組む事項を「ステークホルダーにとっての関心度」、「平野商運にとっての重要度」でマッピングを行い、以下の通りマテリアリティを特定しました。

↑ ステークホルダー にとっての関心度	【環境】 気候変動への対応 【社会】 労働安全衛生の向上	【社会】 安全な運行管理 【社会】 働きがいのある職場 環境づくり
	【ガバナンス】 コンプライア ンスの徹底 【ガバナンス】 リスク管理の 強化	
		【社会】 人材育成
	→ 平野商運にとっての重要度	

KPI

KPI

特定されたマテリアリティをサステナビリティ経営の中核として位置付け、環境課題・社会課題の解決と当社の持続的発展を両輪で回していきます。各マテリアリティにおいてそれぞれKPI（目標）を定め、進捗管理をしていきます。

	課題	目標内容
E 環境	気候変動への対応	CO2排出量を2030年までに2020年比12.3%削減
S 社会	安全な運行管理	対人・対物交通事故、軽微な事故も含め、2025年までに2020年度比50%削減
	働きがいのある職場環境づくり	ドライバーの3年以内離職率の前年比マイナス
	労働安全衛生の向上	高ストレス者数の前年比マイナス
	人材育成	法令、交通運転に関する勉強会の毎月開催の継続
G ガバナ ンス	コンプライアンスの徹底	コンプライアンス研修の毎月開催の継続
	リスク管理の強化	リスク管理委員会を月1回開催

■CO₂排出量の削減

CO₂排出量算定と削減目標

平野商運は、脱炭素社会への貢献は企業の社会的責任であると捉えています。環境保全への意識をしっかりと自覚し、効率的で環境に優しい物流を提供するため、CO₂排出量を算定し、現状把握と、削減への取り組みを行っています。低排出ガス車両やエコタイヤ、デジタルタコグラフの導入、エコドライブによる燃料消費の抑制など事業活動の合理化・効率化を通じて積極的にCO₂排出量の削減に努めています。

<2021年度排出量>

活動	排出源	排出量 (t-CO ₂)	排出割合 (%)
輸送機器 10tトラック未満	軽油	431.2	10.1
輸送機器 10tトラック以上	軽油	3,829.1	89.9
合計		4,260.3	100.0

年次目標

2030年

削減目標

12.3%削減（2020年対比）

低排出ガス車両の導入

低排出ガス車認定制度とは、自動車の排出ガスからの有害物質排出が、最新規制値よりどのくらい削減されているか示すための制度です。トラックが国土交通省による低排出ガス車認定制度の認定を受けると、「低排出ガス車認定ステッカー」が貼られます。この認定を受けたトラックは、排出ガスのレベルに応じて、自動車税の特例措置の対象となります。また、エンジンオイルは「ディーゼルグランド DX 0W-30」を使用しています。優れた省燃費性だけでなく、排出ガス後処理装置の負荷軽減、オイル交換寿命の延長、エンジン寿命の延長の効果もあり、環境に優しいエンジンオイルになります。



低排出ガス車

■省エネルギーへの取り組み

エコドライブの実践

環境負荷の低減に向けて「エコドライブ」を推進し、CO₂排出や燃料消費を抑えるとともに、安全性向上に取り組んでいます。ドライバーに「安全エコドライブ」の研修を実施し、全ドライバーが安全・環境・コスト意識を高く持ち、交通事故発生率の減少と環境負荷低減に努めています。

ミシュランタイヤの導入

平野商運では全車両にミシュラン製タイヤを導入しています。ミシュランタイヤは対摩耗性に優れており、長く使えるのが特徴で、環境に優しいタイヤです。全車両の燃費の管理と把握を行っており、ミシュランタイヤの導入により、軸当たり100kgの軽量化と15%の転がり抵抗の減少が可能となっています。CO₂排出や燃焼消費削減に大きく貢献しています。

また、ミシュランタイヤとの永年の取引関係から、日本ミシュランタイヤ株式会社の代表取締役社長も当社を訪問していただいています。



ミシュランタイヤ



日本ミシュランタイヤ株式会社長の来社

省エネ設備導入と省エネ活動

照明はLEDに切り替えています。LEDは少ない消費電力で白熱灯や蛍光灯以上の照度を保つことができるため、消費電力・CO₂排出量の削減につながっています。耐用年数も長く、メンテナンスの手間も省け、廃棄物削減にもつながっています。また、紙使用量削減（ペーパーレス化や裏紙使用）、電気使用量の削減についても積極的に取り組んでいます。

デジタルタコグラフ

平野商運では、全車両にデジタルタコグラフ（デジタル式運行記録計）を設置し、車両の運行管理を徹底しています。これにより、交通事故の撲滅を図るとともに、燃料消費率の改善による省エネにも取り組んでいます。



デジタルタコグラフ

■環境方針

環境方針

当社は、深刻化する大気汚染、地球温暖化を防止するため、環境保全活動を推進することが企業の社会的責任の一つと認識し、輸送サービスの提供という事業活動から生ずる環境負荷を低減していきます。

環境方針

法規制を遵守し、環境保全に努めます

エコドライブ、省エネルギー運動を推進します

環境保全に関する教育、啓蒙活動を実現します

廃棄物の適正処理、リサイクルを推進します

本方針は、広く社外に公表します

■廃棄物削減

廃棄物削減の取り組み

産業廃棄物の処理は、法令に則り適切に廃棄しています。廃棄物削減に関する取り組みとしては、ミシュランのエコタイヤを導入しています。エコタイヤは摩擦しにくい素材（シリカ）を配合したゴムを使用して製造しているため、一般的なタイヤよりも寿命が長いとされています。交換サイクルも長くなるため、廃棄物削減に貢献しています。また3R（Reduce、Reuse、Recycle）も実践し、事務所内での古紙の再利用や、段ボール等の地域回収等を行っています。

■環境教育について

環境に関する研修の実施

当社は、「グリーン経営認証」の認定業者であり、環境関連法規制に関する研修を実施しています。トラック運送事業者として、地球環境と調和する事業活動を行うことは必要不可欠であり、環境関連法規制や、エコドライブ、各種環境方針についての研修を定期的に行っています。



エコドライブ研修

■環境への取り組みに対する評価

東京都貨物輸送評価制度

東京都貨物輸送評価制度は、東京都が自動車からのCO₂削減を推進する取組みとして、貨物運送事業者のエコドライブ等の日常的な努力を実走行燃費で評価する制度として、2013年から実施されています。審査事項は、ドライバーへの教育訓練、燃費管理の状況、燃費データベース構築の状況の3項目で、3段階評価がされます。1つ星でも優れた水準とされていますが、当社は2つ星を獲得しています。また、5年連続評価取得事業者としても表彰を受けています。



グリーン経営認証

平野商運は、本社営業所、あま営業所共に交通エコロジー・モビリティ財団による「グリーン経営認証」の認定業者です。また、10年継続して認証登録された事業所に対する「グリーン経営認証永年表彰」も受けています。深刻化する大気汚染、地球温暖化を防止するためグリーン経営推進マニュアルに基づき、輸送サービスの提供という事業活動から生ずる環境負荷を低減していきます。



エコドライブ活動「優良賞」

エコドライブは、「環境に配慮した自動車使用の促進」として位置づけられ、「エコドライブ普及連絡会」（警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省）が「エコドライブ普及・推進アクションプラン」を策定し、取組を推進しています。「エコドライブ活動コンクール」は公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が、優れた取組を行っている事業者を表彰し、更なる普及を図るための制度です。平野商運はエコドライブ活動コンクール事業部門において「優良賞」を獲得しています。



■「安全」への取り組み

輸送の安全に関する方針

平野商運は物を運ぶことで地域社会並びに世の中に貢献しています。「安全」はすべてにおいて最優先される事項であり、意識・行動・言動はこの「安全」を大前提とします。平野商運では輸送の安全に関する方針を制定し、全社員で“安全”を徹底しています。

1. 安全運行は全ての業務に優先する
2. 交通ルールの厳守の徹底
3. 無事故無違反で安全運転
4. 輸送の安全は我社の根幹
5. 安全運行はプロドライバーの社会的使命

Gマーク

「安全性優良事業所」の証である「Gマーク認証」を取得しています。Gマーク認証は、全日本トラック協会の適正化機関が「交通安全への取り組み」などの安全面を厳格に評価し、一定の基準をクリアした事業所を認定する制度です。当社では、Gマーク制度の発足から認定取得に積極的に取り組み、2020年7月には、Gマークの継続取得と社会貢献の功績が評価され、中部運輸局より表彰状をいただきました。



自社整備工場の完備

安全な運行において車両整備が非常に重要になります。当社では、自社整備工場を完備し、整備歴40年、ベテラン整備士が担当しています。法定点検のみならず、板金・塗装・電気関係等、トラックを知り尽くした工場長が安心して運行できるよう整備しています。また、ドライバーの安心・安全のため、冬シーズンは全車スタッドレスタイヤへの切替を毎年必ず実施しています。



自社整備工場

ドライブレコーダーの設置

運行中のドライバーの安全確保は最重要課題であり、全車両へドライブレコーダー、バックアイカメラを設置しています。ドライブレコーダーは、事故の証拠を残せるだけでなく、映像を参考にした再発防止の対策や、窃盗などのトラブル抑止にもつながります。ドライバーの安全を確保し、事故ゼロを目指しています。



ドライブレコーダー

長距離便運行車両への非常用食品の常備

長距離便運行車両には非常用食品や災害備品を常備しています。災害時やトラブル発生時もドライバーの安全を確保するため、想定されるあらゆる事態への対応策を実施しています。



非常用食品、災害備品セット

ホワイト物流推進運動

国土交通省の「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、「持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言」をあげております。

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

パレット、カゴ台車、折りたたみコンテナ、通い箱等を活用し、荷役時間を削減します。

運送契約の書面化を推進します。

物流事業者から燃料サーチャージの導入について相談があった際には真摯に協議に応じます。

契約する物流事業者を選定する際には、関係法令の遵守状況を考慮します。

台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行いません。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止、中断等が必要と物流事業者が判断した場合は、その判断を尊重します。

女性や60代の運転者を含む多様な人材が活躍できる働きやすい労働環境を実現します。

■健康経営

健康経営優良法人の認定

平野商運は2018年から「健康経営優良法人」の認定を受けています。当時は運送業界で健康経営優良法人を取得した企業はほとんどなく、同業他社に先駆けて健康経営優良法人の認定を受けました。平野商運にとって社員は最大の財産であり、働きやすい職場環境の整備と、社員の身体的健康、精神的健康、社会的健康の保持増進は経営の最重要課題として捉えています。健康経営優良法人認定制度は、経済産業省が健康経営®を実践している企業を社会的に評価することを目的とした制度です。



※「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

健康診断受診率100%

社員の健康状態把握を目的とした定期健康診断を毎年実施しています。育児休業中等の特別な事情を除き、毎年実施率は100%を維持しています。健診結果に基づき、要再検査、要精密検査の対象者へは個別にメールを送信し、受診勧奨を行っています。また35歳以上の社員には、生活習慣病予防健診を実施しています。生活習慣の改善が必要な社員へは、特定保健指導も行っています。

健康経営の具体的な取組

健康経営は社員が働きやすい職場環境の整備によるモチベーション向上や、健康状態向上によるミス・事故削減につながります。さまざまな取り組みを実施して健康経営を推進しています、

項目	具体的な取組
健康意識向上	「健康アップ通信」を毎月配布 あいち健康プラスに登録し利用促進
受動喫煙対策	敷地内禁煙、喫煙専用ブース設置、禁煙啓蒙
メンタルヘルス	産業保健窓口と連携したサポート体制

■ワークライフバランス

ホワイト経営

平野商運は「ホワイト経営（働きやすい職場認証制度）」の一つ星の認証を受けています。この制度は、国土交通省が2020年8月に、自動車運送事業の運転者不足に対応するための総合的取組みの一環として創設されたものです。職場環境改善に向けた各事業者の取組みを「見える化」することで、求職者のイメージ刷新を図り、国土交通省、厚生労働省が連携して、求職者の運転者への就職を促進することを目的としたものです。



AICHI WISH企業

「AICHI WISH」とはWorking Style Innovation(働き方改革)To(から)Securing Human resources(人材確保へ)の、頭文字を意味しています。愛知労働局が実施している制度で、当社は2019年に認定を受けています。制度自体は働き方改革関連法が順次施行されたことを踏まえ、2021年3月31日をもって終了していますが、平野商運は引き続き「働き方改革」に取組み「魅力ある職場づくり」を維持できるよう、更なる改善に努めています。



働き方改革

社員の年齢構成やライフスタイルは様々であり、一人ひとりのワークライフバランスに応じた柔軟な働き方を実現するため、さまざまな制度を導入しています。フレックスタイム制度や、各種手当を設定し、持続可能な働き方に向けて常に配慮をしています。また、ドライバー同士でバイクチームを作っているメンバーもあり、充実した休日を満喫しています。



バイクチームのツーリング風景

■人材育成

新人ドライバー研修

新入社員教育は座学教育と添乗教育で行っています。必要に応じて研修センター等でも受講することが出来ます。普通免許しか持っていないなくても、中型免許、大型免許の取得補助も行い、1人前のドライバーになれるように人材育成に注力しています。

安全研修会

物流のコンサルティング会社として高いノウハウを持つ株式会社アスアから講師を招き、安全研修会を実施しています。長年にわたり毎月定例開催を継続しており、必ず全ドライバーに対して実施しています。各ドライバーの時間帯はそれぞれ違うため、講師には2日間にかけて在社していただき、各ドライバーの時間に合わせて個別に研修を実施しています。講師の方に2日間にかけて対応していただくのは大変ですが、安全は全ての根幹ですので、一切妥協はせずに継続実施を行っています。



安全研修会

■ダイバーシティ&インクルージョン

ダイバーシティの推進

平野商運は、会社の持続的な成長のために、社員がイキイキと活躍出来る職場環境を整備しています。社員一人一人の多様性を尊重し、生産性向上を志向しながら、働きやすさと働きがいを目指しています。

女性の活躍については、女性ドライバー1名が男性ドライバーと同様の勤務条件で活躍しています。障がい者の雇用については、1名の社員が病気の治療と両立しながら活躍しています。週3回は通院のため、午前中のみの勤務体系としています。シニア雇用については、希望者には定年後も嘱託社員として再雇用を行い、安全な業務履行を前提条件に、本人の働く意識に応じて1年毎に契約更新を行っています。

■コミュニケーションの促進

昼食会の定期的な開催

月に1回昼食会を開催しています。開催する目的はコミュニケーションの促進です。働きやすい職場環境を作るには円滑なコミュニケーションが不可欠です。毎月開催することにより、社員自身も楽しんで参加しており、社員満足度向上にもつながっています。料理が得意なドライバーが腕をふるって作っています。



昼食会のカレー作り

■地域社会への貢献

東山動植物園への寄付

平野商運は、SDGsの取り組みの一環として、2019年に名古屋市と愛知県に寄付を行いました。名古屋市の方は、東山動植物園に動物たちのエサ代として、愛知県の方には、県営都市公園の遊具の改修や新設への利用として寄付を行いました。今後も地域との良好な関係を維持発展していきけるように努めていきます。

ラッピングトラック

平野商運は、「津島の魅力を全国にPR発信」する事を目的にラッピングトラックを制作しました。津島市とコラボし、「尾張津島天王祭」、「尾張津島藤まつり」を左右側面に、後面には、市制施行70周年を迎える津島市のロゴマークをあしらいました。2017年2月、津島市役所でお披露目出発式を行い、日比一昭市長から、「平野商運様には今回、社の社会貢献事業として、ご協力をいただくことができた。素晴らしいこの機会に、津島市をこのようにアピールしていただけてありがたい。このトラックが日本の津々浦々を走る、そんな光景を思い浮かべると、本当にうれしく、また感謝の気持ちでいっぱい」と称賛をいただきました。



ラッピングトラックお披露目出発式

■コーポレートガバナンス

コンプライアンス強化

ガバナンス体制を確立するため、コンプライアンス強化の徹底を行っています。コンプライアンス意識の醸成・浸透を図るため、月に1回の安全研修会の中で、全社員を対象にコンプライアンス研修も同時に行っています。パワハラ、セクハラなど職場のハラスメント防止、情報セキュリティなど幅広いテーマの情報提供を行い、コンプライアンス意識向上を図りながら、最新の事例も含め注意喚起を行っています。



月1回の安全研修会の結果レポート

■リスクマネジメント

リスク管理

リスク事案については全て取締役へ報告が上がる体制にしています。リスク事案を取締役が早期に把握することにより、社内における様々なリスクに対して早急に対応しています。また、法令遵守状況の把握や法令違反の未然防止も含めて、日々リスクマネジメントの強化に努めています。

アルコールチェック管理

アルコールチェックに関しては、出発時には対面点呼でアルコール確認を行い、長距離運送の際の復路については、携帯式のアルコールチェッカーを利用し、確認を行っています。



アルコール検査機



携帯式アルコールチェッカー

顧問弁護士との契約

リスク管理の観点から顧問弁護士と契約をしています。リスク発生時は、必要に応じて弁護士相談を活用し、適切な対応をしています。リスク事例については、効果的な再発防止策を協議し、社内にて今後の予防対策として共有しています。

■情報管理

個人情報保護方針

平野商運はお客様からの信頼を第一と考え、個人情報保護に関する法令および、その他の規範を遵守し、お客様からご提供いただいた個人情報の保護に努めて参ります。弊社のプライバシー保護の方針を以下のとおり明示いたします。

- ・個人情報の定義と収集について
- ・利用目的について
- ・管理・保護について
- ・第三者への開示について
- ・個人情報保護方針の変更・改訂について

サイバーセキュリティ保険の加入

サイバー攻撃の高度化は年々進行しており、リスクへの備えとして、サイバーセキュリティ保険に加入しています。情報漏えいによる損害賠償金や利益損害など、補償対応を可能としています。万が一、情報漏えい等が発生した場合には、被害を最小限に食い止める必要があるため、迅速な原因調査や被害拡大防止等の緊急対応、円滑な復旧をする体制構築も必要です。万全な体制を整えることにより、お取引先企業様からの安心・信頼に役立てています。

■不祥事防止

反社会的勢力との関係遮断

反社会的勢力とは一切の関係を持たないこと、不当要求については拒絶することを基本方針としています。また、取引先がこれらと関わることが判明した場合には取引を解消することとしています。反社会的勢力による不当要求が発生した場合には、警察及び顧問法律事務所等の外部専門機関と連携し、有事の際の協力体制を構築しています。

